

地域の歴史⑥ 昭和20年5月25日の空襲による罹災

前榎町町会長 大竹良重

昭和20年5月25日午後10時30分頃から約2時間半に亘つての、B29約250機の(大本営発表の数字である、実際は470機と言われている)空襲は、我々の住む牛込や、四谷、淀橋、中野、麴町、赤坂、麻布、本郷、渋谷、世田谷、小石川ほか焼夷弾爆撃を受け、各地に甚大の被害(大本営は相当の被害と表現が出た。宮城(皇居)も初めて空襲の被害を受けた。大本営は「宮城内表宮殿の他並びに大宮御所炎上せり」と短く発表した。この日、東京駅、新宿駅も、大きな被害を受けている。東京駅の大正初期建築の美しい姿は失ってしまった。

当日は金曜日、私は工場から午後10時前には帰宅していた筈である。空襲警報が出て、何時もの様に鉄兜・防空頭巾・ゲートルで身を固め、家の前で上空を見上げていた。星を見た印象はない。空は非常に暗かったと思う。はじめは、遠方の空が焼夷弾による火災で赤く染まっているのを見て、あの方向は、麴町だとか、赤坂だと言って、切迫した状況を感じ取っていなかった。自分には、我々の住む所は今度も大丈夫と、非合理的な思い込みがあった。これが度重なる空襲で慢性化していた。空襲は地上だけを戦場とするものではなく、大空では、熾烈な空中戦が行われている。この日には、えのき57号(平成28年4月26日発行に記した撃墜シーン)を見ることが出来た。この興奮も覚めやらぬ中、上空に残るB

29は我々の町にも焼夷弾を降らした。榎町に住む私は、その際焼夷弾の束(集束焼夷弾)が落下する際の音を地上で聞く体験をした。音を文字で表すと「ゴー」か、「ガー」だが、これでは実感が伝わらない。頭を上から押え付けられる様な異空間に入った様な異様な音を聞いた直後、付近一帯が被弾した。疎開跡の地面に伏せていた。誰かが「伏せろー」と怒鳴った様な気もする。焼夷弾には寧ろ危険な姿勢をとったが、異様な音が生む恐怖心によると思う。身を起すと、50米位先の疎開空家から、炎が出ていた。地上に居た者は何れも、町会で防空訓練を一緒にした仲間10人位居たと思うが、何時の間にか、私と隣組長の父親と弟の三人だけになっていった。日頃の訓練通りに手押しポンプを引っ張って現場に向かったが、もう手に負える火勢ではなくなっていた。その時再び焼夷弾の落下音がし、同時に焼夷弾が各所に散らばって着弾する気配を感じた。急ぎ我が家に戻ると、1発の焼夷弾が屋根、2階床を貫いて1階で発火していた。状況判断する余裕はなく、父親が「逃げる駄目だ」と叫んだ様だった。夢中で外に飛び出した。僅かな時間の経過で通りは熱風地獄と化していた。地元より先に被弾した地域の火災で物凄い熱風が発生し道路は風道になっていった。風の強さは、強制疎開で積んで

あった重い畳床を吹き飛ばしバタンパタンと転がす位で、熱さは、十分な水で濡した綿入り防空頭巾の露出部分が十分位で乾いてしまふ程であった、熱風の中に入っただけで息苦しくなり、風上に顔を向けるなど自殺行為に等しかった。必然的に風上に背を向けると後ろから突き飛ばされる程の風圧を受けた。真っ暗な町の中は大小無数の火の粉が水平に飛んで、さながら横に向けた火花であった。焼けトタンなどは宙に舞い上がっていた。この状況下では、ただ本能的に動くしかない。深く被った防空頭巾が視野を狭くしたこともあり、ただ前へ前へ(風下へ)と闇の中、火の粉の明りで移動した。その時、前にも後ろにも人の気配は全くなかった。家族とは離れてしまっていた。どの方向に逃げたら(避難する)は、なじまない)安全か、などの思考は完全に停止していた。町の中を前へ前へと進みながら防火水槽に水があれば清濁がまわず被った。火の粉混じり熱風で、兎に角熱かった。息苦しさもあった。一時的でもこれらから逃げたいと、一度横道に逸れたいが、直感でここは危ないと感じ、急ぎ元の通りに戻った。行き先も定まらぬまま、ただ前へ前へと進み、やがて鶴巻町の都電通りに出た。無意識に右に曲がった途端、通りの先に、真っ暗な空間に無数の火の粉が飛んでいる光景が目に入った。正面は小

石川、本郷、牛込の焼け跡が生み出した闇であった。火の粉は正にその時炎上している牛込地区のものだった。これを見た時は、光景に吞まれ、迫り来る火災から逃げるには、火の粉をくぐり、暗闇の中を歩かねば、と真剣に考えた。そのまま進み、江戸川橋に近づいた頃、前方に同方向に向かう人々の気配を感じた。確認は星明かりが頼りだった。家を出て初めての人達だったので、私には地獄で仏と感じた。防空頭巾で視野と聴力を制約されて生じた孤立感も霧散した。都電通りに入ってからは、熱さと息苦しさも、何時の間にか忘れていた。江戸川橋になると、音羽通りの様子が分かる様になり、都電通りで存在を知った何名かの人々は、音羽通りに流入した。私も遅れまいと付いて行った。音羽通りに入ると幸い此処には火災も起きていなかった。これが音羽(都電)通りに入った人々の生死を分けた。勿論私も含まれる。そして、我が家周辺への焼夷弾投下はその日の空襲の最後ではないかと思える時刻であった。移動中に頭上から焼夷弾が降ってこなかったのも、無事であった重要な因子である。星明かりの中、辿り着いたのは、音羽の護国寺前であった。腰を下ろして、ぼんやりと過ごした時間は定かでないが、やがて空が白みはじめ、明るくなって来た。ここでやっと自分の無事を確認した。 次号に続く…

第45回

のんびりきんこ

アンデルセン公園

〜美しい森のなか

メルヘンの世界で遊ぼう〜



ーアンデルセン公園ー

ワンパク王国、メルヘンの丘、子ども美術館、自然体験、花の城の5つのゾーンからなる総合公園です。自然の起伏や雑木林を生かした園内は四季折々の花で彩られた、緑豊かな憩いの場として、訪れる人々のオアシスとなっています。

●実施日 11月3日(祝)

●集合 午前8時 鶴巻南公園

●行き先 ふなばしアンデルセン公園
船橋市金堀町5255

●参加費 大人 2000円
65才以上 1400円
小〜高校生 2000円
未就学児 無料

●申込み 10月20日(木)までに
参加費を添えて
榎町特別出張所に
お申し込みください

*申込み等の詳細については、町会の
掲示板をご覧ください。

共催 早稲田地区青少年育成委員会
榎町地区町会連合会

地区内小学校対抗

ドッジボール大会



牛込仲之小学校、江戸川小学校、鶴巻小学校、早稲田小学校の小学生の皆さん、「ドッジボール」の試合に出場してませんか。出場選手を募集します。優勝をめざし、がんばってください。
ご家族、地域の皆さん、会場での応援をよろしくお願いします。

●日時 11月27日(日)

午前9時〜12時

雨天時は体育館で実施

●会場 早稲田小学校
体育館(低学年)

校庭(高学年)

●出場申込み

11月初旬に学校から配布される
申込み書に必要事項を記入して
お申し込みください。

*右記の四小学校以外の学校に通い、
出場を希望する児童は、学校名、学
年、氏名、住所、連絡先、希望チーム
を記載の上、FAXかメールにてお
申込みください。

Fax (02669)30900 浦野

E-mail
yamanoiface@yahoo.co.jp

主催 早稲田地区青少年育成委員会
協力 スポーツ推進委員
榎町特別出張所

スポーツ交流の

お知らせ

ユニカール 輪投げ

●日時

- ① 11月6日(日)
- ② 12月4日(日)
- ③ 12月25日(日)
- ④ 1月8日(日)
- ⑤ 1月15日(日)
- ⑥ 2月5日(日)
- ⑦ 2月19日(日)
- ⑧ 3月5日(日)
- ⑨ 3月19日(日)
- ⑩ 午前10時〜12時



●会場 榎町地域センター
4階 多目的ホール

*ユニカールは3人で1チームを編成、
ゲームを行います。

初めての方も気軽にど参加ください。

*運動しやすい服装で、うわばきを持参
ください。

*申込み・参加費は必要ありません

問合せ 黒川孔晴
TEL(02668)1777

主催 わせだスポーツ文化協議会

平成28年度 榎町地区

子ども



虐待防止

住民会議

日時：平成28年11月12日(土)
14時〜16時

場所：榎町地域センター
4階 多目的ホール

! Thema
テーマ

「子ども虐待防止のため、
住民ができること。」

「幼い命、地域でどう守れるか。」
*子ども虐待防止に関心のある方々の参
加をお願いします。

《申込み・問合せ》

榎町子ども家庭支援センター
電話 03(3269)7304

平成28年10月31日(月)までに

左記共催団体までお申込み下さい。

《共催》

・榎町子ども家庭支援センター

・自主事業運営委員会

・榎町子ども家庭支援センター

・榎町地区町会連合会

・榎町民生児童委員協議会



早稲田地区青少年育成委員会

第8回 子ども防災キャンプ

7月10日(日)、鶴巻南公園、牛込消防署早稲田出張所、榎町地域センターを会場に、第8回「子ども防災キャンプ」を開催しました。

子どもは40名、保護者や協力団体などを合わせて99名が防災訓練に参加しました。

- ① 消防車の見学・消防服の試着
 - ② 水消火器の使い方
 - ③ 小型ポンプ・スタンドパイプの扱い方
 - ④ ポンプ式浄水器の使い方
 - ⑤ 応急給水施設の見学
 - ⑥ 地震体験車で地震度6強の揺れを体験
 - ⑦ はしご車見学
 - ⑧ 119番通報訓練
 - ⑨ AEDの扱い方
 - ⑩ 非常食アルファ米の作り方と試食
- と、さまざまな防災に関する親子で学び、経験しました。また、牛込警察署の署員から、日常での交通安全や自身を守る防犯に関するお話も聞きました。これを機会に、子どもたちが地域の防災訓練にも積極的に参加できれば良いと思います。



協力：牛込消防署 早稲田消防出張所 牛込消防団第三分団 牛込警察署 新宿区危機管理課 榎町特別出張所

わくわく何でも体験 牛込二中えんにち

8月21日(日)、牛込第二中学生の実行委員の生徒と早稲田地区青少年育成委員会とで学校を会場に「牛込二中えんにち」を催しました。地域の子どもたち、お父さん、お母さんもおおせい集まり、えんにちは大賑わい、子どもたちにとっては夏休み最後の楽しい思い出となりました。

えんにちには、かき氷やソーゼンべい、ホットケーキ、ポップコーンの模擬店やペットボトルのボーリングやヨーヨーつりのゲームと、たくさんコーナーがあり、参加した子どもたちは中学生のお兄さん、お姉さんと楽しく遊びました。

夏休みの工作教室も大人気でした。自由に絵を描いたり、シールを貼って作るオリジナルのうちわ作り、厚紙で作るぶんぶんコマ作りと、むかし遊びがえんにち気分をいっそう盛り上げました。
来年の夏休みのえんにちにも、皆さん来てください。



共催 牛込第二中学校
協力 榎町子ども家庭支援センター



南極クラブ 地球の未来のために 南極をもっと知ろう

9月3日(土)、江戸川小学校の4・5年生を対象に、南極についての出前授業が行われました。南極大陸は、日本からはるか14000km離れた地球の南の果てにあります。話をしてくださった講師の金城良尚さん(NECネットエスアイ株式会社 本社:文京区後楽)は、1年を通して南極に滞在する越冬隊で、一緒に行った約30名のいろいろな分野の専門家たちと力を合わせてさまざまな研究をしていたそうです。児童には想像もつかない南極の昭和基地での生活を、スクリーンを通して楽しく話してくださいました。

実際の南極についての説明は、映像やクイズがあり、とても分かりやすく、児童たちは「おっ!!」「や「へ〜」。「すごい!!」など終始感心しながら話に聞き入っていました。南極観測の中心地である昭和基地の様子、南極



の動物たちの暮らし、オーロラやブリザード、氷点下で顔中が凍ってしまふなど日本では見ることができない不思議な自然現象の話、昭和基地での食事・遊び、生活の話まで、盛りだくさんの内容でした。金城さんは仕事も遊びも全力投球。職員総出での生活用水の確保作業。雪上相撲大会、水で流すと凍ってしまうのでお湯で流す流しそめん大会。仲間と計画を立て、準備をし、「ゴミが出ないように工夫しながら、過酷な環境での生活を楽しんでいくことがとてもよく伝わってきました。

後半は体験活動が中心になりました。南極の氷を触ったり防寒着を着せてもらったりしました。南極の氷は南極大陸に降った雪が、その重みで押し固められて固まったものです。雪の間には空気が入っているので、固まるときにその時代の空気を閉じ込めます。今回持ってきてもらった氷には、なんと約1万年前の空気が閉じ込められているそうです。その氷を水の中に入れると「プチプチ」という音がします。児童もコップに耳を当てて、氷が融けて閉じ込められていた1万年前の空気が出てきた音を「聞こえる!」と言いながら楽しんで聞いていました。

1学期に2回の試行を経て、いよいよ早稲田小学校「朝あそび」が9月12日に始まりました。この頃は放課後、塾や習い事で時間的になかなかお友達と遊ぶ機会が持てない子供たち。そうは言っても子供たちは昔も今も遊ぶのは大好き!子供たちの心身の健康も気になる。どうしたものだろうと考えて「朝あそび」という「場」を作るに至りました。この日からは、地域や保護者の方々にお手伝いを募り、受付や見守りをしていただきました。大人たちの見守りの中、安全な場所でも安心して元気に遊ぶ子供たち。その姿を見て見守る大人たちも元気がもたらえる時間になりました。始まったばかりの「朝あそび」。これから長く続けて行けるよう、そのために無理のないよう段階的に進めてまいります。

地域の皆様も是非お気軽に、早稲田小学校の「朝あそび」を見いらしてください。月に2〜3回、月曜日の7:45〜8:10に実施しています!(学校がお休みを除く) 月曜日の朝に子供たちが元気に遊ぶ姿を見て、1週間をスタートしてみませんか?



朝あそび

田んぼは学びのフィールドだ！



鶴巻小の屋上に田んぼがあることをご存じですか？開校90周年を記念して、昨年秋に屋上に立派な田んぼをつくりました。水を張ることを楽しみにしていた今年度は、五年生児童が「総合的な学習の時間」に稲作に取り組みました。田起こし、代掻き、田植え、水の管理、収穫、縄なえまで、「鶴巻田んぼプロジェクト」の皆さんのお力を借りながら、自分たちで行います。

「理科」の時間には、水田に集まる微生物や昆虫などの生き物の生態系についても学習し、「よい田んぼ」とは何か考えました。

9月16日には、各町会長の皆様をお迎えして、お祭りの神輿に飾る稲を贈呈する機会もいただきました。育てた稲がお役にたち嬉しい限りです。

鶴巻小では田んぼは学びのフィールドです。収穫した「鶴巻米」をどうおいしくいただくか、これからも5年生の学びは続きます。



高齢者クラブでいきいき 元気に暮らそう

18

榎地区の高齢者クラブの最近の活動状況をお知らせします

1. 平成28年度牛込地区高連 福祉演芸大会
平成28年6月20日(月) 新宿区牛込筆筒区民センターにおいて開催され、牛込地区のクラブおよび地域交流館から23組が参加しました。
榎地区からは次のクラブが参加し、日頃の練習の成果を披露しました。(出演順)
・リズム体操 あかぎ友の会13名
・フォークダンス 原一あゆみ会10名
・合唱 山吹会8名、薬王寺長寿会15名、第一・第二友鶴会11名、柳町すみれ会12名、早稲田長寿会5名、西鶴クラブ7名、早稲田永楽会15名、弁天町和老クラブ15名。
2. 平成28年度牛込地区 輪投げ大会
平成28年6月13日(日) 鶴巻小学校体育館において、参加28チームで開催された輪投げ大会に、榎地区の次の高齢者クラブが参加しました。
上位入賞は次のとおりです。
準優勝 西鶴クラブ(288点)、第3位 榎町友の会(258点)、第5位早南クラブ(239点)が上位に入賞しました。
おめでとうございます。
他の参加クラブは次のとおりです。(成績順)
・山吹会、早稲田クラブ、原二わらく会、早稲田長寿会、早稲田永楽会、牛込心友会、第二友鶴会、原一あゆみ会、柳町すみれ会、薬王寺長寿会、第一友鶴会。
3. 平成28年度区高連「将棋大会」の成績
平成28年7月3日(日)に開催された第56回将棋大会において、次の榎地区の方が上位に入賞されました。おめでとうございます。(敬称略)
Aクラス
優 勝 山住 市郎 二段 (水の原クラブ)
第三位 副島 健 八段 (薬王寺長寿会)
4. 平成28年度区高連「囲碁大会」の成績
平成28年7月17日(日)に開催された第56回囲碁大会において、榎地区の次の方が上位に入賞されました。おめでとうございます。(敬称略)
Aクラス
優 勝 三木 忠 五段(柳町すみれ会)

吉住健一区長となって二度目の「区長と話そうしんじゆくトーク」を
11月15日(火)19時から榎町地域センター多目的ホールにて開催します。

今年度は、「首都直下地震への対策」及び「避難所の取組」をテーマとしています。

30年以内の地震発生率が約70%の首都直下地震への対策は喫緊の課題です。そのため、榎町地区の各避難所では毎年創意工夫した訓練を実施し、首都直下地震の発災に備えています。

「区長と話そうしんじゆくトーク」では、首都直下地震への対策や避難所での取組を紹介するとともに、防災対策や避難所の運営等について地域の皆様と広く意見交換をしたいと思います。

皆様の御参加をお待ちしております。

「秋から冬まで」の作品募集

榎町地域センターでは、館内展示用として秋から冬までの地域の写真、絵画、切り絵等の作品を募集しています。皆様
がこれまでに撮影又は作成をした地域の
作品をぜひお寄せください。

サイズ 概ねA4からA1くらいまで
提出方法 額縁に入れ、撮影者又は作成者、
タイトル、場所をご記入の上、
榎町地域センター2階
事務局までお持ちください。

提出期限 平成28年11月30日まで

展示期間 提出後概ね2週間から
1か月間くらいまで

展示場所 榎町地域センター

留意事項

- ① 作品は丁寧に扱いますが、万が一
破損等した場合であっても、責任
は負いかねますので、提出に当た
っては、この点で留意ください。
- ② 作品の内容によっては、展示をお
断りさせていただく場合がございます。
- ③ 提出数に上限はございませんが、
より多くの方の作品を展示した
いと考えておりますので、あらか
じめご了承ください。
- ④ 提出いただいた作品は、展示期間
終了後、お返しいたします。
- ⑤ 作品の時代は問いません。昔日の
榎町地区の様子が分かる作品が
あればぜひお持ちください。

第15回

榎町地域 センターまつり

日時：10月23日(日)

午前10時～午後4時

会場：榎町地域センター(全館)

4階：多目的ホール

オープニングセレモニー・和太鼓
夏目漱石暗唱コンクール表彰式
子ども達・登録団体のダンス、舞踊
ビンゴゲーム大会

3階：子ども遊びコーナー

おもちゃ病院・手作りコーナー
健康チエック・ごみ分別エコクイズ

2階：指圧・漱石山房・明るい選挙
建物耐震・WEバスポ

お茶席・日赤・防災用品展示
えのき文芸展示

1階：沼田市物産販売・野菜販売
肉まん・花鉢販売・焼き菓子販売

地階：模擬店販売・休息所
展示と遊びコーナー

包丁研ぎ
育成会パネル展示

*皆様の来場を心よりお待ちしております。
*自転車・車での来場はご遠慮ください。

地域センターからのお知らせ

そば打ち教室

日時：11月17日(木)
午前10時～12時
午後1時～3時
募集：午前、午後各6名
場所：榎町地域センター3階 調理室
参加費：1000円
申込み：参加費を添えて
榎町地域
センター2階受付にお申し込み
ください。(先着順)

*エプロン・頭巾・タオル(きれいな物)
そばを持ち帰る容器(お菓子の空箱等)
をお持ち下さい。

年忘れカラオケ大会

日時：12月18日(日)
午前10時～午後4時
会場：榎町地域センター
4階 多目的ホール
参加費：300円
募集：72名
申込み：11月20日(日) 午前10時より
榎町地域センター 4階
多目的ホールにて受付
*申込書は10月13日(木)より
榎町地域センター2階受付にて配布
します。

新春えのき寄席

日時：平成29年1月22日(日)
午後3時～5時(予定)
会場：榎町地域センター
4階 多目的ホール
定員：120名
出演：三遊亭 兼好
柳亭 こみち

*チケットは12月上旬より榎町地域
センター2階受付にて販売予定です。
問合せ：榎町地域センター事務局
Tel(32202) 85855

えのき文芸



解かれたる踊り櫓や秋立つ日

飯田 もと子

磐梯山車窓に映ゆる秋落暉

加藤 理君

山は秋絵具を刷きし大落暉

金澤 誠

ジャブ ジャブ キツズ

パパみてくれた うんどうかい

しおり (小一)

秋彼岸僧侶の歩きスマホかな

軽部 とみ子

法師蟬不意に二階の窓近く

川口 あきを

伊豆の華壁に咲きたるつるし柿

北村 妙子

遊歩道虫の声にと足止めて

久根下 和子

友どちの揃ひて卒寿秋日和

倉林 知子

ラムネ飲む母の思い出ガラス玉

菅原 美智子

朝夕の空気に秋の気配かな

梨平 美沙子



あと千歩万歩計にも義理を立て

ママゴメンまたお蒲団に地図画いた

菅野あきら

振り向いてつくづく思う人の縁

お毒味と称してつまむ盆の菓子

小山 一湖

笑顔先晩酌付の給料日

長生きも孫の会話に追い越され

田実 孜

時刻表を買はなくなりし歳になり

青木 久彌

だっこやら乳母車やらお犬様

奥瀬 イチ



背を伸ばしきつと追越す人見れば

銭で若さが買えぬものかと

奥瀬 イチ

鈴虫の鳴く声夜ごと弱まりて

このごろさみしき闇の夜となる

加藤千代子

兩岸の桜の繁葉交わりて

川面に蟬の啼き音ひびかす

金城 光祥

みつ豆を土産に孫の嫁来たる

若き思ひ出話のあとに

倉林 知子

秋の花



キキョウ (桔梗)
キキョウ科の多年草。青紫色または白色の花を開く。
秋の七草の一つで八重咲きもある。根は乾燥して漢方薬では去痰、鎮咳、消炎薬になる。

広報部からのお知らせ

「家族の肖像」「技の伝承」の企画記事に登場いただける方の情報をお寄せください。

広報誌「えのき」に関するご意見やお問い合わせ、情報提供も榎町地域センター事務局までお寄せ下さい。

「えのき」文芸に掲載の作品を募集しています。次号の俳句のお題は『冬』、川柳は自由吟です。投稿はハガキかファックスに、俳句川柳の別を明記の上、12月10日(土)までに榎町地域センター事務局迄お送りください。

〒162-10042
新宿区早稲田町85
TEL (3202) 8585
FAX (3202) 2478